

【**圓岡**】大山診療所のCT機器の老朽化は課題である。

【**西尾**】本町の適正な財政規模は7、80億円くらい。補助金など切るものは切る。

【**遠藤**】住民があつてこそその財政である。だから、補助金もゼロではなく検討が必要である。

【**近藤**】補助金の一律カットではなく、何を取捨選択するのか、議員も考えるべきである。

【**野口昌**】住民あつての自治体だから、スリム化といつて補助金の一律カットはいけない。

【**岡田**】財政削減ばかりでは住みにくい町になる。効率のよい財政投資が必要だ。

【**大森**】誰のためのスリム化か。職員こそ財産。行政サービスのために、適正な職員数は必要である。

【**米本**】限られた財政の中で、住民に何が必要かはトップの判断にかかっている。

重点施策に何を

【**米本**】これまでの総合計画が実現できているのか。重点施策を絞るべきである。

【**西尾**】事業は縮小、選択と集中

だというが、具体的に何をするか早く考えてほしい。

【**杉谷**】行政に頼るのではない。住民自らまちづくりを進める機運が出てきた。これを伸ばす。

【**吉原**】住民の手による町づくりはやりとげてほしい。

【**西山**】災害に負けない、安らぐ景観を残す。出産、医療、教育に費用をかける町を進める。

【**大杖**】外にも目を向け、自信を持った施策を発信すべき。バランスある対策で住みよい町を。

【**大森**】住民福祉の増進を基本に据える。まちづくり地区会議を



住みよいまちへ

中心に住民自治を進める。

【**岩井**】基金を、町長は上下水道の整備に使いたいと言っている。バラマキではないと思う。

【**西尾**】上下水道に基金を使えば、50億円の半分はなくなる。やっていたのか。

【**野口昌**】上水道が中山・大山は60年たつ。更新することが最重点になる。

【**近藤**】基金を上下水道などに使っても町の魅力は増えない。若い世代や意欲のある事業者に投資すべし。

【**岡田**】今後の事業は、民間資本・活力を使って町の活性化をねらうことである。

【**加藤**】少子化対策が最も大切な部分だが、議員も住民も議論をつめる必要がある。

少子化・高齢化・人口減対策は

【**吉原**】少子化対策としてのネウボラの取り組みを行政も議会も共にがんばる姿勢が必要。

【**岩井**】高齢者を元気にする、健康高齢者を増やすことに力を入れたい。



未来の君たちへ

【**西尾**】若者に力を入れるか、老後に力を入れるか。これからのことに力を入れてほしい。

【**加藤**】いろいろな議論があるが、人口が増えなければどうにもならない。

【**西山**】将来、1741市町村の半分がなくなるといふ。人口を増やす政策に腹をくくる必要がある。

【**野口昌**】働く場所がないと人口は増えない。企業誘致が一番。

【**杉谷**】人口を増やすには若者が必要。大きな住宅団地を大山インター・辺りに造れば、人が来る。

討論をふりかえって

合併に対する思いはいろいろです。よくなかったと嘆いていても活路は開かれせん。

行財政改革、少子高齢化、人口減などの課題にどう向き合い、優先すべき重点施策は何か、今後十分な議論が必要です。

【**遠藤**】町外の人は、本町の手厚い行政をうらやましがらる。しかし、町内の者は町外に遊び場を求める。

【**圓岡**】雇用形態が正規から非正規に。若者の収入をどう確保するかが必要である。

【**大森**】若者が働きやすく、結婚・子育てしやすい環境づくりが必要。国の施策が求められる。